サンビオティック資材　インゲン豆の施用基準

施用目的

1．収量向上、病害軽減

2．品質向上

施用基準（10aあたり）　・・・　家庭菜園の場合は、1㎡あたり1／1000量を与えてください

土作り（畝立て1カ月前）

植物性堆肥（五穀堆肥）　3～5トン

発酵鶏糞　　300～500kg

ケイ酸鉄　　20kg

総合微量要素　　20kg

苦土石灰　　100～150kg（ph6．0～6．5になるように）

菌力アップ　　5リットル（200倍希釈して散布）

※上記を満遍なく散布し、中耕します。

播種（ポットまたはセルトレー）

野菜用育苗培土　　必要量

鈴成　　培土の5%を混和

菌力アップ　　200倍希釈で7日おきにたっぷり潅水

※へそ（黒芽）を下にして播種。初期潅水をたっぷり行い、乾燥防止のため新聞紙などで保湿し、出来れば発芽まで潅水しない。

※育苗中は徒長とならないよう、温度管理（15℃以下、30℃以上にしない）、日照確保、やや乾き気味の管理とする。徒長した場合は、コーソゴールド500倍＋純正木酢液1000倍の葉面散布を数回実施。

※ポット育苗の場合、本葉2枚まで20日間程度育苗する。セルトレーの場合は、本葉1枚で定植する。

畝立て

硫酸マグネシウム　20～40kg

鈴成　　100kg

※床幅 120cm、高さ 15～20cm、通路 80cm、ベッド中央に潅水チューブを配置し黒マルチ被覆。

※粘土質など排水不良園では、通路に溝を切り排水路に流すようにし、高畝 20cm とする。

定植

菌力アップ　200倍希釈（定植前植え穴潅水、苗のドブ漬け、および根回し水）

※株間30～40cm（つるなし25～30cm）

※風で揺さぶられると活着が非常に悪くなるので、露地では必ず支柱に結ぶ。

※活着までは、こまめに菌力アップ200倍液で手潅水。

生育初期

菌力アップ　5リットル（200倍）希釈を1週間おきに潅水

コーソゴールド　500倍希釈
純正木酢液　1000倍希釈　を葉面散布（徒長気味の場合や着花促進の場合、随時。農薬混合 OK）

1段目開花以降

菌力アップ　5リットル（200倍希釈）
糖力アップ　3～5kg（300～500倍希釈）
純正木酢液　1000倍　1週間おき潅水を継続（開花時は糖力を多めに管理）

コーソゴールド　500倍希釈
純正木酢液　1000倍希釈　を葉面散布（徒長気味の場合や着花促進の場合、随時。農薬混合 OK）

その他

※播種時、定植時以外は、土壌水分が多くなりすぎないように管理すること。

※獲り遅れのないように収穫のタイミングに気をつけてください。

※葉に莢がかかると曲がるため、はずしてやると秀品率があがります。

※風害、台風が最大のリスクです。ハウスの強化対策を実施し、台風時もビニールを剥がさないようにします。

※目標収量は3～5トン／10aです。

以上